

<http://www.iaea.org/NuclearPower/FR/>

Thanks for Your Attention !



...Atoms for Peace
...平和のための原子力

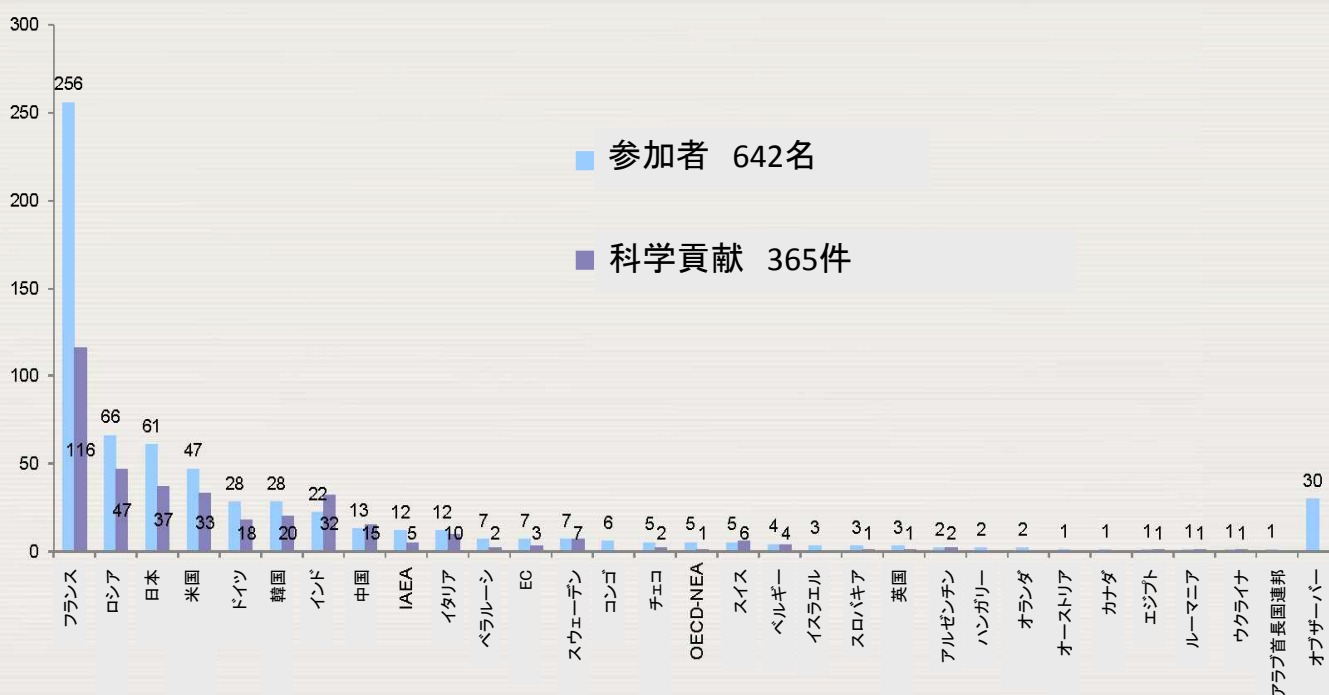
17

参考資料



18

FR13会議： 国別の科学貢献



IAEA共同研究活動(CRA)と 共同研究プロジェクト(CRP)を通じたその実施

- CRAはIAEAのプログラム、サブプログラムおよびプロジェクト(例えば高速炉技術開発)に対応する。
- 研究開発: 主に応用研究
- CRPを通じたCRAの実施。それにより共通の興味のある研究テーマに関して協力する目的で、発展途上加盟国と先進加盟国の研究機関を集める。
- スコープ
 - ✓ 主に開発途上国での能力構築に貢献する。
 - ✓ IAEAの調整活動が大きな付加価値を提供する、あるいは独自の貢献を示す分野に取り組む。
 - ✓ 加盟国に関わり、進行中の国家的および国際的活動に補完的な役割を果たし、それらの活動との相乗効果を促進する。
 - ✓ 新しい知見と科学的、技術的問題のより深い理解を得て、その解決のための提言を行う。
 - ✓ 先進国と途上国間の知識の移転を支援するための科学者間、研究機関間のネットワーク作りを促進する。

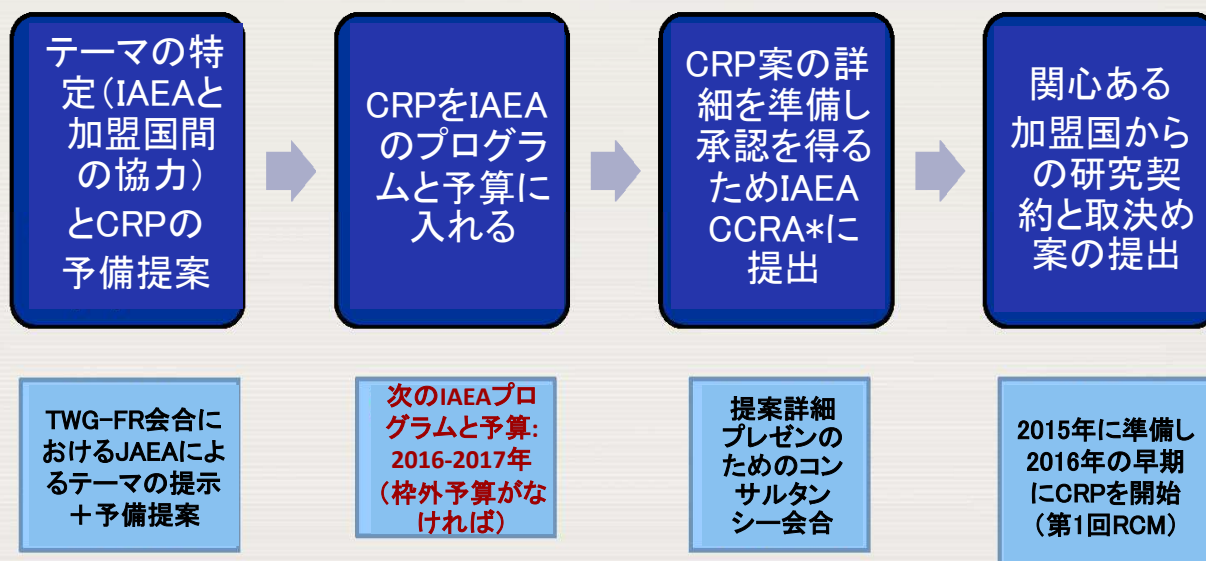


CRPの実施

- 主任科学研究者(CSI)に代表される、5~15の国立研究機関によるネットワーク
- 研究、技術および博士契約による実施
 - ✓ 研究、技術および博士契約
 - ✓ 研究取決め
 - ✓ 研究調整会議(RCM)
- 通常予算からの資金、関心のある加盟国からの追加予算提供もある
- 明確で具体的な1つ以上の目標を持つ
- 3~5年間で結果を得る
- IAEA TECDOC (CRPの終了より12か月以内にIAEA出版委員会によって承認される)、外部出版、国際ジャーナル、IAEAのウェブサイト等により結果を広く普及させる。



新CRPの主なステップ



* CCRA: 共同研究活動ための委員会

DE LA RECHERCHE À L'INDUSTRIE



www.cea.fr

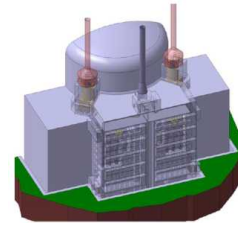
フランスASTRIDプロジェクトについて

日本とフランスの協力

もんじゅへの期待



もんじゅ



ASTRID

アラン・ポラキア



フランス原子力・代替エネルギー庁 (CEA)

原子力エネルギー局 革新技術・産業支援本部長



なぜ高速中性子炉か？

3つの主な理由:

- リサイクルによるプルトニウム在庫量増加への対処 
- ウラン資源の有効活用
 - 現存の原子炉では、天然ウランをたった1%しか使用できない 
 - しかし、高速中性子炉では、80%以上のウラン資源の活用が可能
 - 現在のフランスが保有する劣化ウランの貯蔵量は、高速中性子炉により何千年分もの発電に必要な燃料を賄うことが可能
- マイナーアクチニドを変換して燃焼させることが可能 